



菊武学園フラッシュニュース

学位記授与式と卒業記念パーティーを開催

名古屋産業大学・名古屋経営短期大学では、3月17日に名古屋産業大学・名古屋経営短期大学の学位記授与式が体育館で挙行政され、大学院生7名、学部生124名、短期大学生106名が巣立っていきました。

高木弘恵学長からは「コロナ禍に負けない皆さんの姿が、我々教職員に勇気や感動を与えてくれました。社会に出てからも多くのことにチャレンジして成長して欲しい」旨のメッセージが送られました。

また、この日の午後には、コロナ禍により、ここ数年開催を見合わせていた「卒業記念パーティー」が、3年ぶりに名古屋マリオットアソシアホテルで開催されました。お楽しみ抽選会や記念上映会、お世話になった先生方への花束贈呈などが行われ、卒業生たちは最後の別れを惜しんでいました。



(学位記授与式)



(卒業記念パーティー)

2年生「職業講話」&1年生「企業展」を開催

菊華高等学校では、3月8日、2年生が『職業講話』で「株式会社イ・エー・アイ」（うまやらーめん）の代表取締役社長と採用ご担当の方に来校していただき、企業が求める人間像や企業の組織や運営について講話を聞きました。動画では、就職した卒業生の働く姿やインタビューなどが紹介され、生徒たちが興味深く聞くことができました。最後に社長から「働く人を見学する」という趣旨で、2年生全員に「ラーメン無料券」が配られることが話され、企業の「サプライズ」に生徒たちから喜びの声があがりました。

3月9日には、「私たちを支えている企業を知る」ということで、1年生が『企業展』に取り組みました。愛知中小企業家同友会のマネージで24企業と愛知県警察、自衛隊の合計26団体の中から3団体を選んで、ブースを回り、30分ずつの話を聞きました。生徒たちは、事前学習として、自分が話を聞く企業の調べをしました。企業からの感想として「熱心に話を聞いてもらえた」というものが多かったです。

すべての企業を回れるわけではないので、事後学習での発表を通して、お互いの感想をシェアして、さらに企業についての理解を深めていました。生徒の感想を紹介します。「最初は自分の興味ない企業の話だったので正直言うと退屈なのかなと思ったのですが、実際話を聞いてみると自分が思い込んでいた内容とは違ってそうゆう捉え方や考え方ができるのだと知ることができ面白かったです。やはり外部からの情報だと内容やその会社の理念が理解しづらいので話を聞ける機会があって良かったです。」



(企業展に参加する生徒)

* 菊武学園エコキャップ回収実績

2023年3月分 計 96,406 個
累計 8,760,879 個に達しました。(2023年3月末現在)

2年生が3泊4日で沖縄へ修学旅行

菊武ビジネス専門学校では、2年生は3月7日から3泊4日で沖縄へ修学旅行に行きました。北九州から沖縄に変更されて初めての修学旅行となりました。

旅行先で美ら海水族館の見学、伊江島での民泊体験、マリンアクティビティ体験、ひめゆり平和祈念資料館での平和学習等を行いました。

沖縄の文化や美しい自然、地元の方の温かさ等多くのことに触れたり、あらためて平和の大切さを考えたりしたことから、また一つ成長することができた旅行となりました。



(マリンアクティビティ体験)



(“ひめゆりの塔”説明)

思い出いっぱいの2年間を胸に 新たな門出を喜ぶ

名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院では、春らしい暖かさを感じられるようになった3月18日、ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋に於いて令和4年度卒業式が挙行政され、色とりどりの袴に身を包んだ112名の卒業生が巣立っていきました。

同じ場所で2年前、真新しいブラックスーツに身を包んだ皆さんを新入生として迎えたのがつい昨日のことにように思い出されます。模擬結婚式やショーにクラス一丸となって取り組み、スポーツ大会や文化祭を心から楽しみ、大変だった就職活動を乗り越え、2年間の在学中にたくさんの経験を積んで大きく成長してくれました。

そして少し遡ること3月1日~2日は、最後の研修旅行でディズニーリゾートへ行ってきました。ディズニーキャストの皆さんの素晴らしい接客術やサービス精神を学びつつ、クラスメイトとの最後の思い出づくりもできました。

4月からはそれぞれの道へ進むこととなりますが、いつでも先生たちは卒業生の皆さんの幸せと活躍を願っています。

『卒業おめでとう!』



消防車、消防士さんが保育園に

稲葉保育園では、春の火災予防運動期間中の3月6日に防火指導を実施し、1歳児から5歳児までの50名が参加しました。火災予防のアニメDVDを観てからはしご消防車との記念撮影や消防士さんから消防車の説明を受けました。さらに、実際に消防士が利用している酸素ボンベを背負ったり、マスクを装着や放水ホースに触れるなど、子どもたちにとっては夢の時間でした。

子どもたちは「消防車のはしごが長くてかっこよかった」「消防車にはいろいろなものがあつたよ」と目を輝かせていました。



(消防車の前で記念撮影する園児)



(はじめて酸素ボンベを背負う園児)